

# 「国語」・「数学」の力と学習や生活の状況

～『R6全国学力・学習状況調査』結果から～

◎は良いところ ▲は伸ばしたいところ

## 【国語について】

◎学習指導要領の内容の「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」で、県平均、全国平均を上回っています。

◎話し合いの中の発言について説明した内容を捉える問題や、文章中の情報と情報との関係を捉える問題で高い正答率を示しています。また、文脈に即して漢字を書く問題や、行書の特徴を捉える問題がよくできています。このことから、本校生徒は、文脈に即して内容を捉える力や漢字や書写などの基本的な知識が身につけていることがわかります。

▲目的に応じて自分の考えが伝わる文章になるよう工夫して書くことに課題が見られます。授業では、言葉の選び方や表現の仕方を工夫して、自分の考えが伝わる文章を書く活動を継続していきます。

▲文章と図を結びつけその関係を踏まえて内容を解釈することや、文章を要約するために必要な情報を読み取ることに課題が見られます。授業では、図表が文章のどの部分と関連しているかを確認したり、要約に必要な情報を適切に捉えたりするなど、文章をより正確に読み取る力を伸ばすための学習を継続していきます。

## 【数学について】

◎「数と式」、「関数」、「データの活用」の3つの領域では、全国平均を上回っています。

◎文字を用いて説明する問題で高い正答率を示しています。文字を使って成り立つ事柄を見だし、説明する力がついています。

◎箱ひげ図を比較して説明する問題で高い正答率を示しています。箱ひげ図を読み取り、説明する力がついています。

▲図形の領域に課題があります。特に、回転移動について理解しているかどうかをみる問題に課題があります。移動前と移動後の二つの図形の頂点の対応が読みとることができませんでした。デジタル教科書などを活用して図形が動く様子を把握できるようにします。

▲問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすことができるかどうかをみる問題に課題があります。証明された事柄について、条件を変えても成り立つ事柄を見いだす活動など、総合的・発展的に考察できるように指導していきます。

## 【学習や生活について】

- ◎平日にゲームを長時間している生徒の割合は全国や県平均に比べてとても低い傾向にあり、平日は全くしないと答えている生徒も10%以上います。また、SNSや動画視聴をする時間も短い傾向があります。今後も継続して、依存症の危険にふれ、時間の有効活用について考える機会を設けます。
- ◎学校に行くのが楽しいと思う生徒の割合が全国や県に比べてとても高い傾向にあります。ただし、当てはまらない生徒が少数いますので、それを見過ごすことなく、生徒みんなが気持ち良く学校生活を送ることができるよう取り組んでいきます。また、学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると答えた生徒の割合も高い傾向があります。継続して対話的な学びを推進します。
- ◎困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できると答えた生徒の割合が、全国や県に比べてとても高い傾向にあります。継続して教育相談体制の充実を図っていきます。
- ◎授業で、PC・タブレットなどのICT機器の使用頻度が高いと答えている生徒の割合が高い傾向にあります。また、わからないことをICT機器で調べることができる生徒の割合、タブレットで友達と考えを共有したり比べたりしやすくなると答えている生徒の割合も高い傾向にあります。継続してタブレットの効果的な活用を推進します。
- ▲スマホやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていると答えた生徒の割合が低い傾向にあります。情報リテラシーを高める一方で、学活などでインターネット10か条等で情報モラルを再確認し、Home&Schoolや保護者会等で保護者と連携していきます。
- ◎▲「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に対し「当てはまる」と答えた生徒の割合は全国および県に比べてとても高い傾向にあります。しかし、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という質問に対して「当てはまる」と答えた生徒の割合は全国平均より高いものの、県平均より低い傾向にあります。これらの結果を踏まえ、教育活動のさまざまな場面において、生徒の小さな成長を見逃すことなく認め、褒めることで、自信を持っていろいろな活動に意欲的に取り組んでいけるよう努めていきます。
- ▲「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問に対し、「当てはまる」と答えた生徒の割合が低い傾向にあります。ふるさと教育やキャリア教育の充実、ボランティア活動の推奨、公共心を育む道德教育を推進します。
- ▲「学習内容について、わかった点や、よくわからなかった点を見直し、次の授業につなげることができていますか」という質問に対して「当てはまる」と答えた生徒の割合が低い傾向にあります。全教員が授業を通して、生徒が主体的な学びができるよう、対話と振り返りの時間を設け、自分についての学力を把握するとともに、様々な場面で活用できる工夫を行っていきます。